

九条だより 第114号

北広島九条の会 2017.6.1 発行
事務局 梁川彰博 (ヤガワ アキヒロ)
TEL・FAX 375-9600
メール kitahiro-9jounokai@live.jp
ホームページ www.kitahiro9.jp

◎6月例会のお知らせ

6月4日(日) 午後2時~4時 団地住民センター

<お話> 野崎 健美 (のざきたけよし) さん 恵庭事件元被告

<演題> 「恵庭判決 50年 恵庭の真実の闘いを知り、
活用してこれからの闘いに備えよう」

資料代 200円 (中高校生以下無料)

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

安保法制廃止、立憲主義の回復、個人の尊厳の尊重、「共謀罪」廃案

「市民と野党の共闘を求める5区の会」が結成！

5月20日、厚別区民センターに、150人が参加しました。昨年4月に補選を闘った5区で、安保法制廃止、立憲主義の回復、個人の尊厳の尊重を掲げて、野党の共闘をすすめる市民団体の会が結成されました。

来賓として出席された舟山やすえ参議院議員(山形県選出)から「おめでとう」との祝福の挨拶がありました。民進党、共産党、自由党、社民党の4野党が「今こそ野党が結集しよう」と発言しました。野党4党がこうした形で揃って出席したのはかつてない出来事と言えます。補選で統一候補となった池田まき氏が民進党5区支部長として挨拶されました。

12人の呼びかけ人による「結成宣言」が高らかに読み上げられ、「5区の会」の結成が会場の大きな拍手で承認されました。

裏面に、「結成宣言」の全文を載せました。賛同署名の欄があります。ぜひご署名いただきたく、お願いいたします。

□□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□ □□□□□

平和憲法が施行されて70年、

5月3日、エルフィンパーク

「第10回平和のうたごえ喫茶」に180人が集いました。

「平和のうたごえ喫茶」も10回目という記念すべき年となりました。新しい出演者が増え、時間も30分延長して行なわれました。晴天に恵まれ、会場は暑いぐらいの熱気に包まれました。パネルを可能な限り取り払ったことで、通りかかる市民にも良く見えたようで、これまでにない熱い視線が投げかけられました。

「愛と平和」が今年のテーマでした。また「被災地を忘れない」「憲法施行七十年、戦争する国づくりは許さない」というスローガンが会場に掲げられました。

今年の新しい出演者は、田村幸雄さんのオカリナ演奏と男声二重唱「アンダンテ(田村さん、村井明さん)」でした。また女声コーラス「エーデルワイス」、フルート演奏「アンサンブル kira」、新婦人小組「わたげの」、北海道合唱団の声に会場が盛り上がりしました。

リクエストコーナーでは、在りし日の歌、懐かしい歌が、参加者のエピソードとともに紹介され、最後は参加者全員が手をつなぎ輪になって「ふるさと」の大合唱で終了しました。

参加者には、北広島9条の会顧問山崎信勝さんの手づくり「9の字箸置き」がプレゼントされました。皆さん来年もここで会いましょう。

5月20日の「市民と野党の共闘を求める5区の会」の結成宣言と賛同署名を掲載します。

衆議院北海道五区に市民と野党の共闘を求める呼びかけ

今、日本は、安倍自公政権の下で、個人の尊厳が踏みにじられ、富める者がより富み、貧しき者がより貧しくなる格差と貧困が拡大する社会となっています。

また、戦後平和憲法の下で守り続けてきた「戦争しない国」から自公の多数による強権政治で安保法制を強行成立させ「戦争する国」へと大きく転換され、平和主義、民主主義、立憲主義が踏みにじられています。そればかりでなく、森友学園疑惑問題に見られるように、安倍首相による政治の私物化、教育勅語や銃剣道の学校教育への導入など戦前回帰の動きが強まっています。更には、今国会に上程された「共謀罪」（テロ等準備罪）の成立を許せば、物言えぬ暗黒社会になることは明らかです。「共謀罪」の成立を絶対阻止しなければなりません。

これらは、安倍自公政権が国民の支持を得られている結果ではなく、小選挙区制のもとわずか30%の得票で得られているものです。もし、安倍自公政権に代わり個人の尊厳を擁護する政策（安心して子育てでき、お金の心配なく誰もが教育・社会保障や介護が受けられ、働く人々の賃金格差や労働環境の改善、男女格差の解消、脱原発、辺野古基地建設を許さない等など）、失われた民主主義、平和主義、立憲主義の回復などの政策を掲げ、市民と野党が本気で闘う姿を国民に示すことができれば、政治の転換は可能と確信します。

そのために、政治を政治家や政党に任せるのではなく、主権者である私たち一人ひとりが要求を持ちより、その要求を実現させるため、来るべき衆議院選挙において、北海道五区で再び市民と野党が共闘し、統一候補を擁立しようではありませんか。今までの経緯や違いを乗り越え、安倍暴走政治にストップをかけ、政治を国民の手に取り戻すため「市民と野党の共闘を求める五区の会」に結集されるよう呼びかけます。

2017年5月20日

呼びかけ人（順不同、敬称略）

久保田幸次 北大名誉教授 土居修一 筑波大元教授 宮田汎 市民の風江別代表
金子弘 隠退牧師 清水裕二 元公立学校長 佐藤将 元公立学校長
塩崎義郎 北海道新聞元論説委員 藤田憲昭 僧侶 北村英人 元自治労道執行委員長
三上勝夫 道教育大名誉教授 宮川証法 僧侶 吉田隆 全北海道退職教職員の会石狩札幌支部長

上記の趣旨に私も賛同します。

お 名 前	ご 住 所	連 絡 先

連絡先： 梁川（やながわ） ☎ FAX 011-375-9600

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

◎ホームページへの投稿を呼びかけています。「憲法と私」というコーナーです。

形式や長短、字数、回数は問いません。掲載はイニシャルです。

◎皆さんへ募金のお願い。会は、会員制をとっていません。すべての活動は文字通り皆さんの浄財が頼りです。是非ご協力をお願いします。

郵便振込み口座・北広島九条の会 02790-9-65384